

(東北大学の取組紹介)

## 世界防災フォーラム 2019 への参加について

○世界防災フォーラム 2019

開催期間：11/9（土）～11/12（火）

開催場所：仙台国際センター、東北大学百周年記念会館（川内萩ホール）

○東北大学の参加状況

・災害科学国際研究所が、WBF 国内実行委員会および WBF 連携推進会議のメンバーとして参加しているほか、当該事務局としても協力している。

・「三大学総長・学長復興シンポ」（主催：災害科学国際研究所）の開催

日時：11/10（日）14：00～15：30

会場：仙台国際センター 大ホール

内容：岩手大学・東北大学・福島大学の総長・学長が集まり、各大学における東日本大震災から現在に至るまでの取組を紹介するとともに、未来に向けた大学の存在や役割を議論し、震災 10 年に向けた取組やそれ以降の方向性について情報交換を行う。

・災害復興新生研究機構がセッションへ参加

日時：11/12（火）8：30～10：00

会場：仙台国際センター 大ホール

セッション名：Toward Restoration after Fukushima Daiichi Nuclear Accident

（福島第一原子力発電所事故後の復興に向けた取組）

セッション内容：災害復興新生研究機構のこれまでの取組の紹介を行うとともに、福島第一原子力発電所事故後の復興に向けた本学の取組を 4 つの分野（放射性物質によって汚染された生活環境の復旧、被災動物の包括的線量評価、災害対応ロボット、廃炉に貢献する基礎研究・人材育成）から紹介する。

セッション発表者：長谷川晃教授（工学研究科）、鈴木正敏講師（災害科学国際研究所）、昆陽雅司准教授（情報科学研究科）、渡邊豊教授（原子炉廃止措置基盤研究センター）